

# 治療計画説明書・同意書

部位・病名: \_\_\_\_\_

## 抜歯の必要性について

- 虫歯が進行しているため、腫れ、痛みなどが出ることがあります。
- 歯周病が進行しているため、腫れ、痛みなどが出ることがあります。
- 歯の生え方のために、炎症を起こしたり、舌などを傷つけています。
- 嚢胞(膿などが貯留した袋状の病変)があり、  
歯を保存する方法では治療が困難と考えられます。
- 矯正治療や歯ならびの安定のために抜歯が必要です。
- 乳歯交換期のための抜歯が必要です。
- その他:

## 抜歯方法について

- 局所麻酔を行います。
- 伝達麻酔を行うため、下唇・舌の一部など広範囲に麻酔が効きます。
- 抜歯鉗子・挺子などを用いて抜歯します。
- 歯肉を切開し、歯のまわりの骨を一部削去します。
- 抜く歯を分割します。
- 歯のまわりの感染組織や嚢胞(膿などが貯留した袋状の病変)を除去します。
- 切開した歯肉を元の位置に戻し縫合します。
- その他:

## 抜歯後の症状について

- 痛み: 抜歯後に痛みが出ることがありますが、その場合は鎮痛剤をお飲みください。
- 出血: 唾液に血が混じりますが心配ありません。  
うがいをすると出血してくることがありますので抜歯当日のうがいはさけてください。  
血が止まらない場合は早めにご連絡ください。
- 腫れ: 抜歯後に腫れる場合があります。  
そのため口が開きにくくなり食事や会話に影響が出ることがあります。  
また腫れが強くと内出血を生じ皮膚に黄色や紫色のあざが現れますが  
1～2週間で消えます。
- 歯が神経に近い下唇や舌のしびれなどの知覚異常が現れることがあります。  
神経症状の回復には時間がかかるため、回復に1年以上かかることがあります。  
その際、神経賦活剤の内服などにより治療する必要があります。
- 抜歯によって上顎洞と口腔が交通することがあり、息が抜けたり、  
上顎洞炎になる恐れがあります。その際、早期に処置・投薬を行う必要があります。
- その他:

## 抜歯に際してのご注意

- 抜歯は手術ですので前日から疲れないように心がけ、  
十分な睡眠をとって体調を整えて来院してください。  
もし体調が思わしくない場合には担当医にお申し出ください。
- 抜歯後の注意をよくお守りください。
- 抜歯中の状況により処置の内容が変更になる場合があります。  
その場合は術中あるいは術後にご説明いたします。
- その他:

抜歯について上記の通りご説明いたしました。(説明した項目は口にチェックしました)

## 手術同意

同意日: \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

患者(直筆署名) \_\_\_\_\_

医療法人東歯会  
鎌倉ハート歯科クリニック